

# 夜間学校ニユース

1988年12月23日  
西成区萩之茶屋2-8-9  
旅路の里気付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の  
指紋押なつ拒否断固支持！  
定住外国人に市民権を！

みんなでつくろう

みんなの会館

毎週金曜日  
夜七時より  
市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

三人よれば 何とかの 知恵

一九八八・昭和・おわり

なんて いても

かわらぬえの が釜ヶ崎

一九八八年も、もうすぐ

あり、来週からは越冬南  
争中につき夜間学校は、お  
休み。もっとも、来年一月

六日は、越冬期間中だが、

越冬の主催で、世間の

道理と釜ヶ崎という学習

会が開催されるので、それ

は夜間学校共催という鬼い

を込めている。ぜひ、参加

を。言をしてくれるのは、

六十一、いや、三十三、六

年累動時に釜ヶ崎に関わ

つた、神戸女学院大学のい

関先生。きつと、ザッくバ

ランな、面白い話が聞かせ  
てもらえるものと、今から

期待している。多くの仲間

が参加されるよう、早手回

しにお願いしておきます。

おわりといえ、昭和の

も、おわりとは確定的。

もつといえ、昭和の

おわりと共に、今の好景気

もおわりという説がある。

住は着工数が、大阪以

外はどことも下がりはじめ  
ているという。

田原も、さらに進み、大

統領選のおわったアメリカ

は、ボクが千百万景気になる。

その景気も受けて、遅く

と一八九九年には大不況

になるという。稼ごのなら

来年前半まで、というのが

悲観的な見方のようなだ。

しかし、貧乏人たるもの

不況になるとハッキリ知ら

させても、打つべき手かま

ったくない。だから貧乏人

なのだ。いばつてみても

しょうがないが、とりあ

ず、来年もよろしく、今年

仲間の死

本籍、住所、氏名不詳

年齢50歳の男、身長150センチ

4、腹部にタテ直線に15セ

ンチの手術痕あり、遺留金

品なし

右の者は、昭和61年11月

27日午後6時50分ごろ、西

成区萩之茶屋1-10-20先

路上にて発見されたもので、

同日午後8時(推定)、同

所において凍死したものと

思われる。

身振引取人不明につき

検視解剖のうえ、女斎場にて

火葬に付したので心当たり

の方は当区役所まで申し出て

# 「なまけ者」の 偏見なくして

## 野宿者の8割、働いています

大阪「寄せ場学会」会員らが101人聞き取り

大阪・あいらん地区(旧釜ヶ崎一帯)やキタ、ミナミの盛り場周辺の道路、公園などをねぐらにしている野宿者。世間からは「なまけ者」と冷たい目で見られがちだが、実際は不景気や病気、けががきっかけでやむを得ず野宿を始めた人がほとんどで、現在も紙拾いや日雇い仕事などをしながら底辺労働者として懸命に生きている。こんな実態が十五日、「日本寄せ場学会」(運営委員長、池田浩士・京都大教養部助教授)の有志メンバーによる聞き取り調査でわかった。これまで中学生らによる野宿者襲撃事件などの調査はあったが、過去の経歴から野宿する理由、生活などを調べた幅広い調査は行政も行っていない。

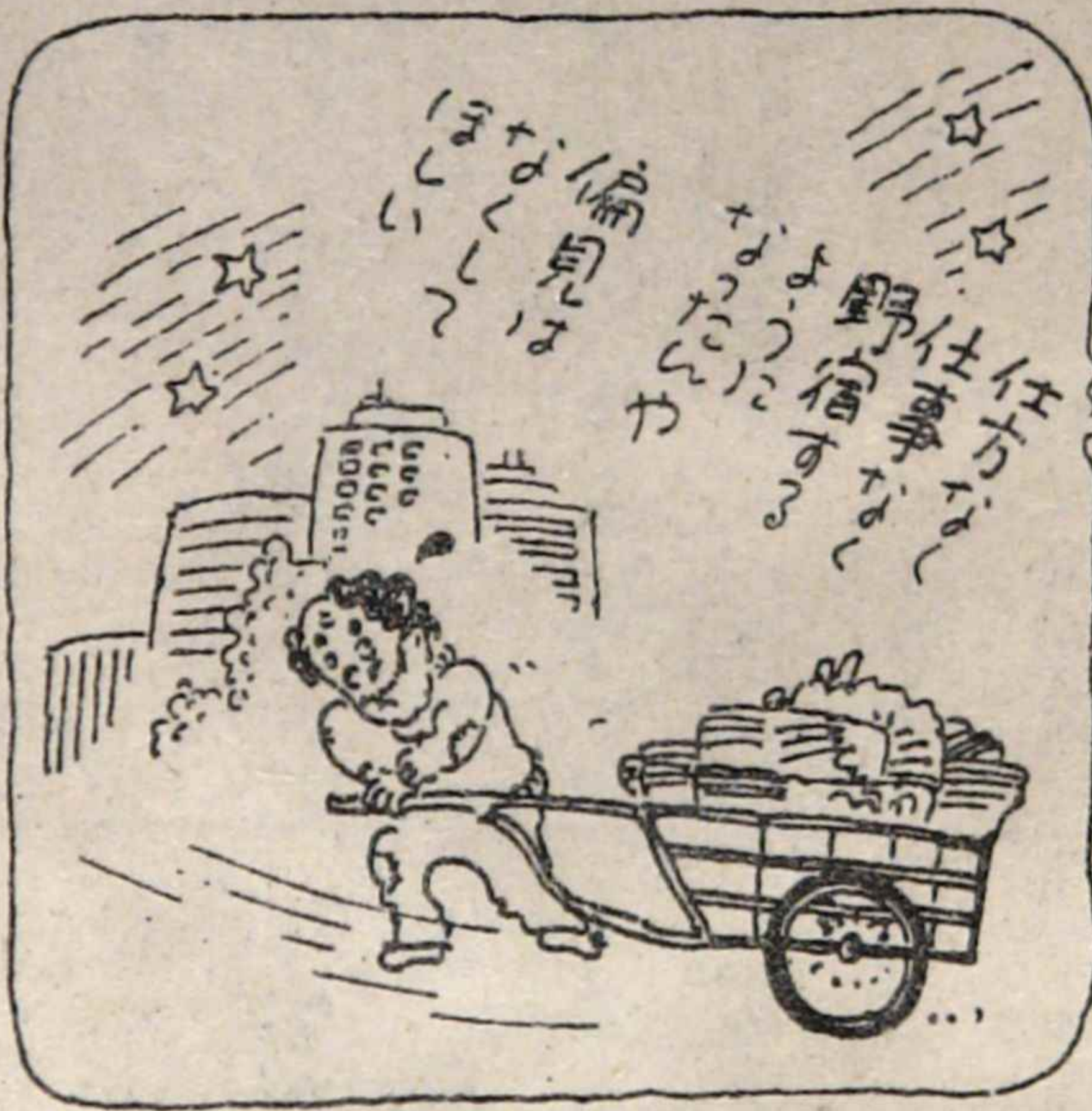
### 殴られたり 半数近く体験

調査したのは「寄せ場学会」の会員らでつくる「野宿者差別の実態を明らかにする会」(松葉逸夫幹事)。大学教師や大学院生、日雇い労働者ら六人が、六月から十月にかけて計二十七回、深夜に、あいらん地区、日本橋、心斎橋、梅田など七カ所で野宿していた人たちに直接会って話を聴いた。

回答者は百一人で、うち女性は一人。平均年齢は五十四・六歳。六十歳以上の人が三十五人おり、最高齢は七十七歳のトビ職人だった。一年以上野宿を続

けている長期野宿者が最も多く、四二・六%、続いて日雇い仕事がない時だけ屋外で寝るなど周期的に野宿を繰り返す人が三五・六%、一年未満の短期野宿者は二一・八%だった。

野宿を始めた理由は、「仕事がなくなった」が最も多く、三九・三%。この中にはオイルショックなどによる不景気や仕事をあぶれ、そのまま野宿が習慣になった人のほか、たまたま調査直前に仕事がなく野宿していた人も含まれている。他は「病気が二・七%、「高



生計を得る手段は、リヤカーをひきながら商品の段ボールなどを集めて売る「ヨセヤ」が三七・六%でトップ。次いで「日雇い」が二九・七%、「ヨセヤ」と日雇いの兼業」が一三・九%だった。これら仕事を持つている人の合計は八一・二%で、仕事をしていない者は「拾い食い」と「無回答」を合わせても二割に満たない。

また、半数近い四十四人が少年たちに殴られたり花火を投げつけられた、警察に連れていかれた、酔っぱらいにけられた、などの経験を持ち、社会から冷たく扱われている現実をうかがわせる。

「これまでにも、夜間学校ニコースでは、何回か野宿者調査について報告した。野宿者を金儀なくさせている仲間に、調査の協力を求めるにあたって、野宿者が驚愕したり、福祉対応が悪いのは、野宿者に対する偏見なくして、野宿者に対する偏見があるからであり、それを打ち破るには、野宿者をして一人一人から話を聞いて、それが精一杯生きていくことを伝えなければならぬ、だから協力して欲しい」といつていた。

そのように言ったのは、別に協力をえたいだけの方便ではな

くて、本当にどう思っていることだが、野宿者を金儀なくされる多くの仲間、どうやって協力を頼み、百人をこえる仲間と声をかけて断わられたのは一人か二人に比べよく協力してもらったからには、なんとか一日も早く、世に訴える、伝える義務を果たした

いと考えていたが、一応、左のような形で、野宿者の半分ぐらいは果せたのではないかと、ホッとしていた。もうしばらく時間をもらって、新聞記事にもあるように、小冊子に報告をまとめて、より実のあつた訴えをしたいと考えている。